

## ◆ プラスチック製容器包装類の分別手順 ◆



決められた収集ステーションへ  
収集日の当日朝8時までに出す

6月資源ごみ収集実績

空きびん	5.7 t
空き缶	3.9 t
古紙	33.4 t
ペットボトル (拠点回収分)	1.5 t
プラ製容器包装 (6月業者引減分)	6.3 t
合計	50.8 t

ごみ循環型社会を目指して

# プラスチック製容器包装類

資源回収

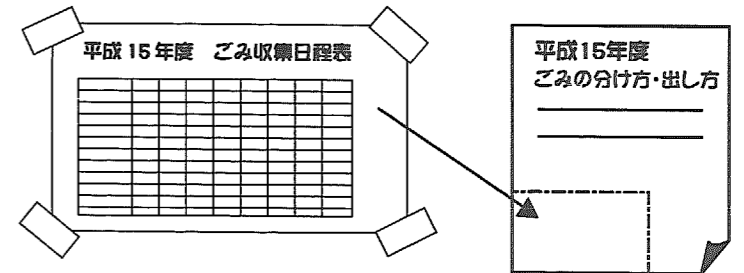
9月から  
収集日を  
追加します

4月より開始した「プラスチック製容器包装類」の分別収集ですが、皆様のご協力によりたくさんのプラスチック製容器包装類が集まっています。これらは、再生処理をされて新しいプラスチック製品に生まれ変わっています。

広報6月号でもお知らせしましたが、収集量および不純物の混入量などを調査し、収集業者と検討した結果、収集日を追加することになりました。より一層のマナーの徹底にご協力をお願いします。

## ◆ 変更後の日程表をお配りします ◆

3月に各家庭へ配られている、「平成15年度 ごみの分け方・出し方」下段の「平成15年度 ごみ収集日程表」の変更後の部分を、広報8月号と一緒に配りします。新しい日程表を上からテープ等で貼ってお使いください。



ごみではありません、再利用資源です

プラスチック製容器包装類は、溶かして油へ戻し、プラスチック製品などに生まれ変わります。ごみとせず、再利用資源だということを認識してマナーを守りましょう。

勘違いではなく、明らかに故意と思われる(空き缶、空き瓶、電池など)ものが見つかっています。せっかく協力してくれた方のものと混ざって資源化できないこともありますので、絶対にやめましょう。

不純物の選別費用が無駄になります

皆さんから集められたプラスチック製容器包装類は、業者へ運ばれ、不純物や汚れたものを取り除くため手作業で選別が行われます。手作業の選別は大変な重労働で、費用がかなりかかります。資源にならない不純物が多ければその分労力が多くかかり、その選別費用が無駄になってしまいます。

不純物や汚れたものは、混ぜずにしっかりと分別して出しましょう。

※これらは、選別作業で出た不純物の例です。

こんなものまで



きちんと分別しましょう!